



2月25日に3部に交付された
消防ポンプ自動車

消防団第3部に新型車両交付 100周年を記念した式典開催

町消防団第1分団第3部（島田昭徳部長）は2月25日、救助資機材を搭載した新しい消防ポンプ自動車の交付を受けました（消防庁から無償貸与）。交付後、同部の団員は車両の特徴や操作方法などを聞いていました。

3月3日には町農業構造改善センターで、新型車両のお披露目と同部創部100周年を記念した行事を開催。地域住民や町消防団幹部ら約90人が参加して新型車両を参観し、地域を守る決意を新たにしました。

島田部長は「地域の皆さんと歴代の先輩のおかげで100周年を迎えることができました。感謝を忘れずに任務にあたる」と話しました。

まちの話題 あれこれ

身の回りに起きた出来事など、
楽しい情報をお寄せください。
役場企画財政課
(☎ 611-2724)



消防団3部のますますの発展を祈願して
乾杯をする参加者（3月3日開催）

ひまわりパークの誘客案を発表 産技短の学生が研究の成果を披露



提案をした（左から）佐藤峻さん、安保星奈さん、
下川晃さん、仁和春菜さん

県立産業技術短期大学の学生4人は卒業研究で、煙山ひまわりパークの活用方法を検討。研究の成果を3月11日に役場で町職員ら約30人に披露しました。

発表したのは同校2年の産業デザイン科と建築科の学生4人。同パーク内を「しきいろの町」と名付け、ハーバリウム作りやスカイランタンのイベントなど、四季を通じた活用方法を提案しました。

また、「しきいろの町」のロゴマークをデザインし、情報サイトの開設や蜂蜜入りのオリジナルデザートなどを考案して、観光客を呼び込むアイデアを考えていました。



にぎやかさと人の集まりを表現した
ひまわりパークのロゴを提案する



大きく羽ばたけ！矢巾っ子

町児童生徒顕彰メダル授与式が2月23日、田園ホールで行われました。顕彰メダルは各分野で優秀な成績を収めた個人や団体あわせて254人の児童生徒に、高橋町長がメダルを授与して栄誉をたたえました。



思い出を胸に未来へ旅立つ

3月1日、北日本高等専修学校（田中耕之助校長）の卒業式が矢次公民館で行われ、6人の卒業生が、勉強やスポーツ、地域でのボランティア活動など、たくさんの思い出を胸に、それぞれの道へ羽ばたきました。



未来への決意新たに 中学校卒業式

矢巾北中学校の卒業式が3月13日に行われ、卒業生142人が西郷晃校長から卒業証書を手渡され、先生や友人との別れを惜しみながら、それぞれの進路に向かい旅立っていました。



びすとろ銀河オリジナルの丸々1個のリンゴが入ったおでんに興味津々の参加者

IGRいわて銀河鉄道株式会社（浅沼康揮社長）、町地域おこし協力隊藤岡裕子隊員、町は2月22日、IGR青山駅南口にある「びすとろ銀河」で町産食材を味わう「おでんバルYAHABA」を開催しました。

提供された料理には、しいたけなど21品の町産食材を使用し、矢巾の食の恵みをPR。紀田節子さん（首都圏在住）は「矢巾の野菜がとてもおいしい」と感激していました。

このイベントは、IGRいわて銀河鉄道が駅のにぎわい創出と地域活性化のために取り組み、今回で6回目。藤岡隊員が盛岡市の協力隊から、この取り組みを紹介されて開催にいたしました。

町産食材と
うまい酒を
味わおう
IGR青山駅
でおでん
バル開催



特別賞に選ばれた作品

北郡山子ども会は、日本損害保険協会（西澤敬二会長）の第15回ぼうさい探検隊マップコンクール（応募総数2865点、うち入選は17点）の審査員特別賞に選ばれました。2月27日に同子ども会の児童が徳田小学校で賞状や記念バッジなどを受け取りました。

作成したのは、地域の防犯や危険箇所をまとめた地図。大きさは縦110センチ、横80センチで、昨年の夏休み期間に同子ども会の児童11人で2作品を作りました。

辻鼻玖妃さん（6年）は「公民館周辺を地図にした。見やすくするために色使いを工夫した」と地図の説明をしていました。

北郡山子ども会が作った
防災マップが
全国特別賞に